

平成31年4月8日

千葉県立松戸国際高等学校関係者 様

校長 加茂 進

千葉県立松戸国際高等学校 校長室日誌

松戸国際高校の校訓・教育方針・教育目標について

校 訓 希望(ESPERANZA)

校訓は、学校の根本精神です。松戸国際高校の校訓は「希望」。昭和48年（1973年）に、本校が松戸東高校として開校した時に定められたもので、今日まで変わらずに掲げられてきました。

教育方針は、どんな時代でも変わらない教育の歩むべき道であり、大きな指針です。したがって、ほとんど変える必要のないものです。それに対して、教育目標は、時代の変化に対応して定める教育の目的で、当面の計画です。だから状況に応じて修正すべきものです。

教育界では「不易と流行」という言葉がありますが、教育方針が「不易」、教育目標が「流行」に対応するものと考えてよいでしょう。しかし、本校の教育方針と教育目標は、校名変更等の様々な変遷を経る中で、交錯しその区別がしづらくなっていました。

そこで私は、本校の教育方針と教育目標を見直し、平和でより良い社会づくりに貢献できる人材育成に向けて、整理し直しました。5月から元号が令和になります。国文学者のロバート・キャンベル氏は、「平和になるよう様々な人が努力し、行動に移す」という意味がくみ取れると話しています。偶然ではありますが、新しい令和の時代にふさわしいものになると考えています。



先ず、教育方針です。私は、本校の歴史を紐解いてみました。すると、実は、大きな方向性を示す教育方針は松戸東高校時代に定められていたことが分かりました。校門わきにある創立20周年記念碑に、教育方針として、「若者は心情を培え、若者は智能を磨け、若者は体軀を養え、そして若者は希望に輝き自ら力行せよ」と刻まれています。

私はこれを本校の教育方針として再確認したいと思います。

教 育 方 針

【心情】 若者は心情を培え

【智能】 若者は智能を磨け

【体軀】 若者は体軀を養え

【希望力行】 そして若者は希望に輝き自ら力行せよ

【心情】・【智能】・【体軀】は、所謂「知・徳・体」という時代が変わっても目指すべき大きな指針、「不易」なるものです。

本校ならではの特徴は、【心情】すなわち、心を耕すことが一番先に来ていることです。「知・徳・体」ではなく、「徳・知・体」なのです。

※「かがやき」の漢字について、碑では「輝」を使っているが、松耀祭（文化祭）、松耀会（同窓会）にちなみ「耀」を使うこととする。

もう一つの特徴は、「さとい」という「智」を使っていることです。つまり、単なる知識ではなく、物事の本質を見抜く力ととらえることができます。

【希望力行】は、松国生が希望をもって力強く歩む姿、すなわち育成すべき生徒像です。

次に、教育目標です。これは、本校の伝統や特色を踏まえるとともに、高大接続改革や新学習指導要領の全面実施、AIの進展する Society 5.0 時代、新しい学力観や所謂アクティブラーニングに代表される新しい指導法などの時代の要請に対応できるよう、【心情】・【智能】・【体軀】をそれぞれ、松国版「豊かな人間性」・松国版「確かな学力」・松国版「健やかな体」、【希望力行】を「社会力豊かなグローバル人材」とし、次のとおり詳細を定めました。

松国版「豊かな人間性」は、立場や状況をよく考えて適切に行動できるセルフコントロール力と

持続可能な社会づくりに向けた共生の心です。

松国版「確かな学力」は、文系・理系に偏らない深い教養と論理的読解力、確かな言語運用能力と物事の本質を見極め未知の課題に対応できる力、及び主体性をもって社会のために学習しようとする態度です。

松国版「健やかな体」は、自らの心と身体の健康を適切に管理する力です。

松国版「豊かな人間性」・松国版「確かな学力」・松国版「健やかな体」を合わせて、「松国力」と呼ぶことにします。

「社会力豊かなグローバル人材」は、本校生徒の将来像です。これは、異文化理解に努め、様々な立場の人たちと協力して課題を解決し、よりよい社会の構築に貢献できる人材のことです。

ここで言う「社会力」は、筑波大学名誉教授の門脇厚司氏が提唱する力で、「人が人とながり、社会を作る力」のことです。より良い社会を創るために、周りの人と協力できる力と言い換えることもできます。

以上をまとめて、「松国力を高め、社会力豊かなグローバル人材を育成する。」を本校の教育目標としました。

教育目標 松国力を高め、社会力豊かなグローバル人材を育成する

松国力

1 松国版「豊かな人間性」【心情】
(1) 立場や状況をよく考えて適切に行動できるセルフコントロール力
(2) 持続可能な社会づくりに向けた共生の心

2 松国版「確かな学力」【智能】
(1) 文系・理系に偏らない深い教養と論理的読解力
(2) 確かな言語運用能力と物事の本質を見極め未知の課題に対応できる力
(3) 主体性をもって社会のために学習しようとする態度

3 松国版「健やかな体」【体軀】
(1) 自らの心と身体の健康を適切に管理する力

社会力豊かなグローバル人材【希望力行】

異文化理解に努め、様々な立場の人たちと協力して課題を解決し、よりよい社会の構築に貢献できる人材

松国力を高めることは、社会力を高めることです。世のため人のためという視点で、【心情】と【智能】と【体軀】を磨くことで、社会力を高めることができます。そのことによって、社会力豊かなグローバル人材へ近づくことができるのです。

ここで一言強調したいと思います。松国力は、松国だからこそ、つけることができます。

松国には、様々な文化のルーツを持つ多様な生徒がいます。先進的な英語教育、国際理解教育、国際交流活動が行われています。グループワーク、学びあい、発表などを重視した授業がたくさんあります。地域や小学校等との関わりも多様です。ユネスコスクールとしてSDGs達成に向けた活動もあります。様々な部活動、委員会、行事の取組が盛んです。

生徒はこのような松国ならではの環境の中で、【心情】を培い、【智能】を磨き、【体軀】を養うことができます。その日々の取組が、生徒の松国力を高め、社会力を高めてくれるはずです。

生徒一人ひとりが、将来、社会力豊かなグローバル人材として、世界中で活躍できるよう、学校として生徒の「松国力」育成に全力を尽くします。

学校を拠点とし、すべての生徒・保護者・教職員・地域住民がつながり、よりよい社会の構築を目指しましょう。